

地域コミュニティ かわら版 (総集編)

平成24年8月から

平成28年2月まで

目次

千手堂2区・志賀1区	1
菅谷1区・志賀2区	2
古里2区・広野2区	3
川島2区・むさし台	4
鎌形・勝田	5
菅谷2区・川島1区	6
杉山・平沢2区	7
菅谷4区・広野1区	8
菅谷5区・越畑2区	9
菅谷6区・越畑1区	10
菅谷7区・吉田2区	11
菅谷8区・吉田1区	12
菅谷9区・古里1区	13
将軍沢・太郎丸	14
川島3区・根岸	15
平沢1区・大蔵	16
平沢2区・千手堂1区	17
菅谷3区・遠山	18
川島1区	19
菅谷1区	20
菅谷9区	21
菅谷8区	22
川島2区	23
川島1区	24
菅谷2区	25
志賀1区	26
むさし台	27
将軍沢	28
千手堂2区	29
鎌形	30
大蔵	31
古里	32
吉田2区	33
勝田	34
広野1区	35
広野2区	36
杉山	37

地域コミュニティかわら版（総集編）について

地域におけるコミュニティ活動の活性化は、防災・防犯を始め、子育て支援、青少年の非行防止、高齢者の見守りなど「安全」で「安心」で快適な生活を過ごすうえで欠かせないものです。

近年では、人と人とのつながりが希薄になりつつあると言われていています。地域によっては、近所どうしても挨拶もしないなどの状況になっているようです。しかし、地域のコミュニティ不足は、近年日本に発生した大震災において改めて見直されました。災害時においては、地域のコミュニティが不可欠なものと位置づけられました。

地域コミュニティが必要な状態は、災害時のみではありません。子どもを狙う犯罪や事故は後を絶ちません。高齢者の孤独死も問題になっています。勿論、これらを地域コミュニティ活動により全て解決できるものではありませんが、地域のコミュニティがあれば、防げることもあります。

人はひとりでは生きることできません。地域コミュニティ活動は、今後ますます必要とされていくと思われまます。

嵐山町では、地域のコミュニティ活動の活性化を図るため、平成17年度から地域コミュニティ活動に対する補助を行ってまいりました。

平成23年3月に策定された第5次嵐山町総合振興計画においては、地域コミュニティの振興を重要な施策と位置づけ取り組んできました。

平成24年度になり、地域の活動はどのように行われているのかを広くお知らせするため、各地区の協力のもと、平成24年8月号広報紙から「地域コミュニティ かわら版」の掲載を開始しました。

さらに平成26年7月号からは、地域コミュニティ事業を行っている活動の実績を掲載しました。予定していた掲載内容が、平成28年2月をもって予定の掲載が終了したため、今回、ひとつの区切りとするため、総集編を編さんさせていただきました。

地域がより豊かに発展するため、この冊子が一助となることを心から願っています。

平成28年3月

嵐山町地域支援課

【注】

- ・ 地域コミュニティかわら版は広報紙の掲載順で編成しています。予めご了承ください。
- ・ 目次については、本冊子のページ番号を記載しました。
- ・ 各ページの右下又は左下において、「広報嵐山 201●.●. ●」（●は全て数字）と掲載されています。これは、掲載された広報紙の年、月、ページを表しています。
- ・ 本総集編は、各広報紙をPDF化したものを冊子化したものです。よって、写真の画像が粗くなっております。予めご了承ください。

